

事前評価個表

整理番号	2
------	---

事業名	水源林造成事業	事業計画期間	R 6年度～（おおむね 80 年間）						
事業実施地区名	<small>おおよどがわ</small> 大淀川広域流域	事業実施主体	国立研究開発法人森林研究・整備機構						
事業の概要・目的	<p>① 位置等 本流域は、宮崎県一円を包括している。年平均気温はおおむね 12～17℃前後、年間降水量はおおむね 2,300～3,400mm 前後となっている。</p> <p>② 目的 本流域については、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国有数の降雨による豊富な水量が、農業用水として耕地のかんがいや宮崎市等の上水道用水として利用されているほか、発電用水としても利用されている地域であること ・台風や豪雨等による自然災害が多い地域であり、木材生産機能だけでなく山地災害防止機能の発揮が早急に必要となっていること ・シカ害も増大してきていることから、施業と一体的に行う獣害防止対策を推進することが重要となっていること <p>等から、多様な森林整備を計画的に行い、水源涵養や土砂流出防備等の公益的機能を高度に発揮させることを目的としている。</p> <p>③ 事業の概要等 分収造林契約締結対象区域は、形質が悪い樹木が優占するなど、健全な林相とはなっていない状況にある。このまま放置すれば短期間での高木性樹木による成林や林相の健全性の向上は期待できず、降雨等による土砂流出のおそれもあることから、水源涵養等の公益的機能を高度に発揮させるため、本事業によりスギの植栽等を予定している。また、広葉樹の前生樹等を活かし、針広混交林を目指すとともに、シカ害が見込まれる地域は、シカ害対策を適切に講じていくこととしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な事業内容：箇所数 11 件、事業対象区域面積 241ha (スギ植栽 168ha、広葉樹等育成 72ha、既契約地周辺の間伐等 1 ha) ・事業対象都道府県：宮崎県 ・総事業費： 1,305,593 千円（税抜き 1,186,903 千円） 								
費用便益分析	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">総便益 (B)</td> <td style="text-align: right;">2,427,400 千円</td> </tr> <tr> <td>総費用 (C)</td> <td style="text-align: right;">872,800 千円</td> </tr> <tr> <td>分析結果 (B/C)</td> <td style="text-align: right;">2.78</td> </tr> </table>			総便益 (B)	2,427,400 千円	総費用 (C)	872,800 千円	分析結果 (B/C)	2.78
総便益 (B)	2,427,400 千円								
総費用 (C)	872,800 千円								
分析結果 (B/C)	2.78								
水源林造成事業評価技術検討会の意見	費用便益分析、森林・林業情勢、植栽木等の生育状況、事業コスト縮減の取組等を総合的に検討した結果、水源林としての機能を十分に発揮しているなど事業実施の効果等が認められることから、事業を実施することが適当である。								
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 本対象区域では、水源涵養等の公益的機能を高度に発揮させるため早急に森林を造成する必要があるものの、森林所有者の自助努力等では適正な森林整備が困難であることから、事業の必要性が認められる。 ・効率性： 費用便益分析の結果、投下する費用を上回る効果が見込まれるほか、広葉樹の前生樹等を活用した針広混交林の造成を目指すこと等によりコスト縮減に努めることとしており、事業の効率性が認められる。 ・有効性： 水源涵養等の公益的機能の着実な発揮のために、シカ害対策や針広混交林化など森林の造成に必要な施業等が計画されており、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たって審査項目（チェックリスト）、費用便益分析及び各観点からの</p>								

	評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源涵養）に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。
--	--

様式1

便 益 集 計 表
(森林整備事業)

事業名：水源林造成事業
施工箇所：大淀川広域流域

宮崎県
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	655,948	
	流域貯水便益	226,853	
	水質浄化便益	870,349	
山地保全便益	土砂流出防止便益	522,331	
	土砂崩壊防止便益	3,533	
環境保全便益	炭素固定便益	130,130	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	18,256	
総 便 益 (B)		2,427,400	
総 費 用 (C)		872,800	
費用便益比	$B \div C = \frac{2,427,400}{872,800} = 2.78$		

宮崎県児湯郡西米良村内等 水源林造成事業候補箇所全11箇所
(注)便益算定方法は、代表的な箇所(宮崎県児湯郡西米良村)を表示しています。

令和5年度水源林造成事業評価(事前評価)対象広域流域

